



# 元気いっぱい！苅っポー



No. 221 令和5年3月9日

夢と希望に向かって  
努力する子ども

友達と仲良く  
助け合う子ども

約束や決まりを守り  
あいさつする子ども



## 「貞観政要」 ～我が座右の書～

毎年で恐縮ですが、本年度も紹介します。

『貞観政要』という書物は、300年という長期政権を築いた中国・唐王朝の2代皇帝だった太宗すなわち李世民(りせいみん)と、彼を取り巻く名家臣たちとの言行録です。

その問答を通して、リーダーと部下はどのような関係であるべきか、何が組織の長短を分けるのか、リーダーにとって必要不可欠な心得とは何かなど、現在でも十分通用する普遍の真理が語られています。私の「座右の書」でもあります。

わが国でも、鎌倉時代には北条政子が、江戸時代には徳川家康が、そして明治時代には明治天皇が愛読したといわれていることからわかるように、『貞観政要』の中には時代を超えても変わらないリーダーシップのすべてが語られています。

この中で、私が大事にしている『三鏡』(3つの鏡)について紹介します。私の座右の銘でもあります。太宗は、リーダーの要諦として「銅の鏡」「歴史の鏡」「人の鏡」の3つの鏡をもつことを説いています。

「銅の鏡」 … 部下が自然についてくる「いい表情」をしているか。  
子どもが先生方についてくる「いい表情」をしているか。  
※ 先生は子どもにとって、1番身近なロールモデルです。

「歴史の鏡」 … 過去に照らして、将来に備える。  
将来を考えるには、過去の事例を多く勉強するしかありません。  
※ 子どもたちに負けないよう、先生方も日々学ぶ姿勢が重要です。

「人の鏡」 … 直言をしてくれる「他人」が大事。  
直言してくれる人がいなければ自分の本当の姿を見ることができません。  
※ 子どもや周りの人の言葉を素直に聴く姿勢が大切です。

この「貞観政要」は、社会の中で生きる私たちにさまざまな観点から、重要な課題を突きつけてくれます。先行き不透明な現代を生き抜くヒントが必ずみつける書物です。

多くの現代語訳の本が出版されていますので、皆さんもぜひ一読してみたいかがでしょうか。



太宗（李世民）